



平成 17 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 ジェイ・エスコム ホールディングス株式会社
代表取締役社長 名原 健治
(JASDAQ コード番号 3779)
問合せ先 IR 本部部長 山本 浩之
電話 03 - 3507 - 6350

当社子会社（株式会社エスコム）の平成 18 年 3 月期
中間・通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社エスコムは、平成 17 年 5 月 27 日付同社「平成 17 年 3 月期決算短信(連結)」および「平成 17 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表しました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の中間期連結および中間期単独業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正等

(1) 連結（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	780	40	38
今回修正 (B)	417	218	350
増減額 (B - A)	363	256	388
増減率 (%)	46.5%	-	-
平成 17 年 3 月期中間業績 (C)	622	145	138
増減額 (B - C)	205	73	212
増減率 (%)	32.9%	-	-

(2) 単独（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	486	36	32
今回修正（B）	126	207	337
増減額（B - A）	360	243	369
増減率（％）	74.1%	-	-
平成 17 年 3 月期中間業績（C）	324	143	126
増減額（B - C）	198	64	211
増減率（％）	61.1%	-	-

2. 修正の理由

(1) 単独業績予想の修正等

売上高につきましては、来年 4 月の教科書改訂を控え当社主力商品である教科書完全準拠教材の端境期にあり、現有商品販売の上半期における売上が低位に推移することは、当初より折込済みでありましたが、予想以上に低調に推移したことに加え、今中間期までに予定しておりました商事部門の売上も予想をはるかに下回る事となった結果、当初計画を大幅に下回る見込みとなります。

経常損益につきましては、上記売上高の減少に伴う粗利益の減少により、当初計画を大きく下回る見込みです。

当期純損益につきましては固定資産の除却損を 3 百万円計上した他、減損会計の適用により固定資産にかかる減損損失を 16 百万円計上し、さらに来年 3 月をもって切替わる教科書完全準拠教材在庫にかかる評価減を 112 百万円計上した事などにより、特別損失として 132 百万円を計上いたしました。

(2) 連結業績予想の修正等

単独業績予想の修正に伴うものであります。

3. 平成 18 年 3 月期 通期連結・個別業績予想について

株式会社エスコムは、平成 17 年 10 月 3 日付で株式移転により、当社（提出会社）の完全子会社となっております。

従いまして、通期連結・個別業績予想につきましては、当発表と同日付けで発表させていただきます当社（提出会社）の通期連結・個別業績予想において連結子会社として包含されておりますので、当該開示資料をご参照下さい。

(注) この発表文に記載しております予想数値は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因により、実際の数値は当該予想とは異なる場合がありますので、予めご承知願います。

以上